

# 彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, June, 2007

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

6月の状況 (佐藤)

☆ C/2007 E2 (Lovejoy)

6月になり、眼視全光度は11等以下に落ちた。スペイン、Juan José Gonzálezの眼視観測では、6月5.95日UT、20cm SCT(×77)で、全光度11.2等、Dia 2.5'、DC 3、Tail 0.1° p.a. 140°と観測した。その後、6.51日UT、関課長(芸西天文台)が12.1等、8.93日UT、ドイツ、Uwe Pilzが11.3等、ポーランド、M. L. Paradowskiが10.95日UTに12.8等、16.97日UTに12.9等と眼視観測したが、これ以降の眼視観測報告はなかった。

眼視による観測が次のように報告されている。

2007	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	6.51	12.1	2'	6	-	-	3/5	4/5	60×20cmR	関 勉	

10日UTの夜は見えなかった。

☆ C/2006 VZ<sub>13</sub> (LINEAR)

C/2006 VZ<sub>13</sub>がだいぶ明るくなってきた。

6月6日、筆者からOAA彗星課メーリングリスト(以下 oaa-comet ML)に「Juan Jose Gonzalezの観測では眼視で11.7等と明るくなっているようです。…鈴木さんが5月28.42日(UT)、RAS Observatory (H06)での観測は12.6等でだいぶ明るいと思ったのですが実際明るくなっていたのですね。diaも大きくなっているようです。…」とC/2006 VZ<sub>13</sub>がだいぶ明るくなってきたことを知らせた。

17日、oaa-comet MLに新潟県十日町市の村上茂樹氏が、6月16.68日UT、眼視で10.7等と報告され、更に18日、千葉県船橋市の張替 憲氏は、「千葉県九十九里海岸での眼視観測です。…シーイングを5段階表記に改めました。16日土曜の未明は空気も乾燥していてこの季節としては抜群の透明度でした。吉田誠一さんのHPやGuide8.0の予報位置に導かれてすぐに見つかりました。…」と報告された。これに応じて、筆者が「観測報告ありがとうございます。私も、この時間頃自宅で

久しぶりに天の川がハッキリと見えたので C/2006 VZ<sub>13</sub> に 25×100 B を向けたのですが、見えるような気もしましたが確認できませんでした。側にある TYC 3633-1980-1(10.65 等)はハッキリ見えていたのですが自宅では限界でした。」と自宅ではまだ確認できないことを報告した。

22 日、張替氏から「千葉県九十九里海岸での眼視観測です。南の強風が雲を飛ばしてくれて晴れました。…前回 16 日に観測した時と違って恒星状の核がいきなり見えたので驚きましたが、星図を調べたら、たまたま TYC 3987-982 (11.5 等)とぴったり重なっていることがわかりました。こういう場合の光度観測はむずかしく感じました。コマが楕円形に見えましたが尾が出ているかは明確にわかりませんでした。

明け方、太平洋上にのぼる P/2006 F1 (Kowalski)も観測目標でしたが、3 時前にやはり雲が出てしまい諦めました。」と報告があった。

24 日、筆者から oaa-comet ML に「昨夜 C/2006 VZ<sub>13</sub> を観測しました。自宅では難しそうなので阿武隈川の東岸宇津峯橋附近での観測です。…双眼鏡を向けてすぐに確認できました。東側に散開星団 NGC7261 が見えましたがこれよりは暗いです。西天に月が沈もうとしていました。郡山市の光害が少しありましたが、月とともに影響は軽微です。自宅で確認は無理だったと思います。」と眼視観測できたことを報告した。

続いて、27 日、吉田誠一氏から、「沖縄県・石垣島での彗星観測です。…社員旅行に単眼鏡を持参して、彗星を観測しました。C/2006 VZ<sub>13</sub> は意外と明るくなっており、小型の単眼鏡でも簡単に見えました。…」と次第に明るくなっている様子が報告された。

眼視による観測が次のように報告されている。

2007	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
June	10.71	10.8	4'	6	-	-	4/5	4/5	60×20cmR	関 勉	
	15.66	11.0	4'	4/	-	-	5/5	4/5	49×32cmL	張替 憲	
	16.68	10.7	1	4	-	-	-	-	68×46cmL	村上茂樹	
	20.67	11.0	4	5	-	-	3/5	3/5	49×32cmL	張替 憲	
	23.59	9.9	4	3	-	-	4/5	4/5	25×10cmB	佐藤裕久	
	23.68	9.4	7.5	5	-	-	-	-	10×7cmR	吉田誠一	

#### ☆ SWAN 画像の中を移動する光点

6 月 16 日、宇都宮市の鈴木雅之氏から、oaa-comet ML に「…今月は、太陽の移

動に合わせて黄道上を1日に1度のスピードで移動する小さな明るい光点が見えていますね。(昨年3～5月にも同様の光点が見えていました)」との報告があった。

これに対し筆者から「金星です。Lagrangian point L1 から見ているので地球上の黄道座標からは少しズレがあるようですが、2003/12/03-2003/12/24, 2004/08/05-2004/09/13, 2005/11/15-2005/12/05, 2006/03/17-2006/06/18, 2007/06/03-2007/06/13の画像に現れています。」

とコメントした。鈴木氏

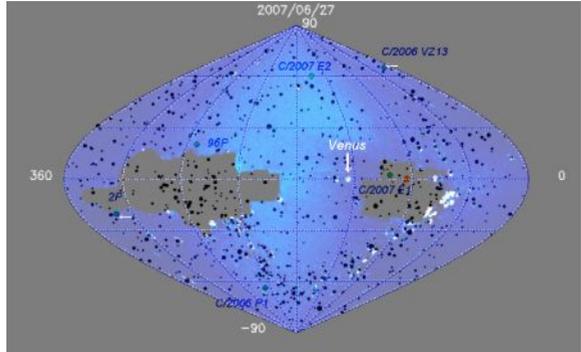
は「…SOHOの一部が光っているのかと思って詳しくは調べなかったのですが、なんと金星でしたか。確かに金星の位置と一致しますね。惑星はSWANでは見えないものと思いついていましたが、金星は見えるのですね。」と応えた。

なお、筆者が更に木星についてチェックしたが確認はできなかった。

彗星の発見は次のとおり。

- ☆ C/2007 M1 (McNaught) 6月16.71日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring の0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から彗星を発見した。NEO Confirmation Page に掲載後、幾人かの CCD 観測者によって観測された。(IAUC 8849, 2007 June 18)
- ☆ C/2007 M2 (Catalina) 6月20.19日 UT、Catalina スカイサーベイによって小惑星状天体が発見され、NEO Confirmation Page に掲載された。6月21.2日 UT、J. Young (Table Mountain 天文台, 0.61-m 反射望遠鏡)によって観測された。(IAUC 8852, 2007 June 23)
- ☆ C/2007 M3 (LINEAR) 6月21.31日 UT、LINEAR サーベイによって小惑星状天体が発見され、NEO Confirmation Page に掲載後、幾人かの CCD 観測者によって彗星であることが確認された。(IAUC 8852, 2007 June 23)

その他比較的明るい彗星は、2P/Encke、C/2007 E1 (Garradd)などであった。



SWAN/SOHO 画像+黄道星図 ↓の先に金星

© 2007 ESA and NASA